

数学科（数学探究A）学習指導案							
年月日	平成28年6月17日（金）第1時限						
年次	3年次	講座	301	教室	セナ-3教室	指導者	清家 俊介
単元	第3章 2次関数			教科書	「タイプわけによるNEW数学I A」（正高社）		
指導目標	2次関数のグラフの取り扱いを習熟させ、種々の場合における関数の考え方を活用できるようにさせる。グラフを通して、方程式や不等式の解の意味を考察し、2次不等式の解および解法について理解させる。			指導計画	1 2次関数とそのグラフ 2時間 2 最大・最小 3時間 (本時はその2) 3 グラフと方程式・不等式 5時間		
本時の指導過程	主題	2次関数の最大・最小					
	目標	グラフを利用して、2次関数の最大・最小を求めることができるようにさせる。					
	課題	問題【91】，【93】を解いてくる。 定規（透明）を持参する。					
		学 習 活 動	時間	指導上の留意事項		資料、評価規準等	
	導入	1 前時の課題の内容を確認する。 2 本時の目標を確認する。	5	・机間指導により、予習状況を確認する。			
	展開	1 問題【91】を解く。 (定義域が固定，グラフが移動) (1) 軸はどこにあるのか (2) 解の吟味 2 問題【93】を解く。 (グラフが固定，定義域が移動) (1) x と a の違い (2) グラフの移動と概略	1 2 1 3	・基本事項を確認させる。 ・ a の値を定めることで，グラフが移動することを理解させる。 ①チェーン ②格子戸 ・ a の値を定めることで，定義域が変わり，それによって最小値が変化することを理解させる。		【評価規準】 ○平方完成ができるか。 <知識・理解> 【評価規準】 ○問題文からグラフを描くことができている。 <数学的な見方や考え方> 【評価方法】 ・プリント，定規（透明） ・プロジェクタ	
	開	3 問題演習 (グラフが固定，定義域が徐々に広がる) (1) 平行移動 (2) 上に凸のグラフの最小値 (3) 解の吟味	1 5	・軸の位置を把握させる。定義域の広がりによって，最小値が変わることを理解させる。		【評価方法】 ○行動観察	
	整理	1 本時のまとめを行う。 2 次時の学習内容を確認する。	5	・本時のまとめをさせる。 ・大学入試センター試験の受験 上の注意を再確認する。 ・次時の問題演習を確認させる。			
	備考	生徒数 男子2名・女子6名 計8名					